

**「福祉事業団体の利用拡大キャンペーン」（10月～12月）  
 ろうきん・こくみん共済 coop の一層の基盤拡大を図ろう !!**

労働者福祉協議会の基盤強化の取り組みについて、第11回定期総会において、昨年に引き続き労福協運動の基軸として最優先で取り組むべき事項に位置付けたことに基づき、以下の取り組みを展開します。

1. 中国労金の「家計の見直し運動」、こくみん共済 coop の「地域社会とつながろう！」キャンペーンの具体的推進について、10月から12月を特別強化月間と位置づけ（中央労福協は10月から11月を強化期間に設定）事業団体と協議の上設定した目標達成に向けて集中的に取り組めます。
2. 役員等の交代があった地区を対象に8月から12月の期間、地区労福協・各分会役員合同研修会を開催します。
3. 事業団体職員および職員労働組合の研修会に講師を派遣します。
4. 「2022全国福祉強化キャンペーン」に取り組めます。

中央労福協が主導する「全国福祉強化キャンペーン」に呼応し、共助拡大・利用促進を柱に、他団体とのネット

ワークや連携を通じて労働者福祉の充実に取り組むものです。中国労働金庫とこくみん共済 coop の利用拡大を図ることを目的とし「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」として各地区共通目標を設定の上、達成に向けて取り組みます。具体的な取り組み目標については、各事業団体との協議のもと下記のとおりとしました。また、10月4日（火）、労金、こくみん共済 coop、県労福協三者による、各産別組織に向けての協力要請を行いました。



産別組織等協力要請行動

**福祉事業団体利用拡大キャンペーン取り組み目標**

各地区労福協

中国労金「家計の見直し運動」

内容 地区名	他社ローン 借換件数 (有担保・無担保・カード)	給与振込指定 新規契約件数	組合機関会議 への参加回数
安来	15	20	15
松江	80	36	79
隠岐	4	10	1
雲南	4	30	10
出雲	20	70	50
大田	10	20	10
江津	3	5	8
邑智	2	3	6
浜田	7	10	15
益田	4	10	5
合計	149	214	199

各地区労福協

こくみん共済 coop 「地域社会とつながろう！」キャンペーン

内容 地区名	7才の交通安全プロジェクト (マイカー共済 掛金見直し作成) 目標件数		こどもの成長応援プロジェクト (こくみん共済 こども保障タイプ推進) 目標件数
	職 域	居住域	職 域
安来	23	7	3
松江	29	20	7
隠岐	1	3	1
雲南	5	5	1
出雲	29	15	6
大田	5	5	1
江津	4	6	1
邑智	1	4	1
浜田	14	8	2
益田	10	9	2
合計	121	82	25

2022 全国福祉強化キャンペーン

**全国共通テーマ**

01 労働者福祉運動で、  
共助の輪を  
地域に広げよう!

02 生活・就労支援を  
地域のネットワークで  
支えよう!

10～11月を強化期間として、全国47都道府県で活動を展開します!

## 島根県労福協結成50周年記念式典を開催

10月21日（金）、松江市・ホテル白鳥にて38名の参加による島根県労働者福祉協議会の結成50周年記念式典と祝賀会が開催されました。

当日は第3回理事会を開催したのち、第一部では中央労福協の南部事務局長より「50周年を契機に、労福協運動の未来に向けて」と題して講演を受けました。

第二部から記念式典に移り、冒頭、成相理事長が結成からこの日までの歴史と労苦を織り交ぜながら感謝の意を込めた挨拶を述べました。そのあと、この間の功労者の表彰を行い、代表して矢倉前理事長に感謝状と記念品を贈呈しました。

式典には来賓として、中央労福協より南部事務局長、島根県より松尾副知事が臨席され、それぞれ祝辞を賜りました。

祝賀会は、仲田副理事長の乾杯の発声で開宴し、50年間のスライドショーを觀賞しながら2時間ほど歓談し、原田副理事長のお開きの閉会挨拶で宴を終了しました。コロナ禍での開催であり大規模な開催とはなりませんでしたが、思い出話に花が咲き、また将来に向けて希望が広がる祝賀会となりました。

なお、島根県労福協は50周年記念事業として「フードバンクあったか元気便」に対し運営資金として50万円の寄付金を贈呈することとしています。



成相理事長

中央労福協  
南部事務局長

松尾副知事

### 【功労者の方々】

矢倉 淳 様、遠藤 渡 様、岩田 学 様  
安田充志 様、鎌田憲男 様、細木 勝 様  
原田進哉 様、長田寿幸 様



矢倉前理事長（功労者表彰）



50周年記念式典の様子

## 地区事務局長会議を開催

9月2日（金）、労働会館において県労福協、中国労働金庫、こくみん共済 coop の共催によりハイブリッドによる地区事務局長会議を開催しました。10月から12月の3カ月間展開する「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」に向けた意思統一を目的とするもので、実参加12名、Web参加3名（参加予定だった2地区で通信不具合）となりました。

冒頭、福岡専務の挨拶ののち、県労福協、中国労働金庫、こくみん共済 coop からそれぞれの問題提起と3地区労福協からの特徴的な活動報告を受け、地区労福協における労金運動と労済運動推進の意義等について共通認識を醸成しました。

後段では、実参加の中央労福協遠藤事務局長次長による「労福協運動のこれまでとこれから」と題した講演を受け、参加者一同、労福協運動の歴史を踏まえつつ改めて今後の展望に思いを新たにしました。

中央労福協  
遠藤事務局長次長

### <事務局長会議次第>

1. 地区労福協活動の領域拡大について（県労福協）
2. 労金運動の推進について（中国労働金庫）
3. 労済運動の推進について（こくみん共済 coop）
4. 地区労福協の特徴的な活動について（安来、松江、江津）
5. 講演・労福協運動のこれまでとこれから  
（中央労福協事務局長次長 遠藤孝一氏）



# 松江地区労福協が感謝状授与 ～松江市社会福祉協議会より～

松江地区労福協の永きにわたるボランティア活動に対し、松江市社会福祉協議会より感謝状が授与されました。澤田事務局長より以下の報告を受けましたので転載します。

松江地区労福協は地域社会への貢献活動として「窓ふきボランティア」を実施しています。この活動は年越しを迎えるにあたり、大掃除が困難な松江市内の独居高齢者宅を訪問し、窓ふきのお手伝いをするものです。

訪問先からは「気持ちよく新年を迎えることができる」などの感謝の声とともに、家に閉じこもりがちな高齢者にとって、ボランティアの方との会話も大変喜ばれています。また、ボランティアとして参加した方からも、お役に立てたという充実感と訪問先の方とのコミュニケーションが良かったとの感想もいただいております。双方にとって大変有意義な活動です。

「窓ふきボランティア」は2006年より16年間継続して実施していますが、以前の地域貢献活動は「障子貼りボランティア」でした。当時、障子をご使用されない家庭も増えていた状況を考慮し、活動の内容を変更した経過があります。

2022年10月18日開催の松江市社会福祉大会（主催：松江市社会福祉協議会）において社会福祉事業功労団体（社会福祉事業に積極的協力援助を行い、その功績が顕著な団体）として感謝状をいただいたのは、継続的に窓ふきボランティアを実施してきたことと、2020年

と2021年に松江市社会福祉協議会が実施するひとり親世帯等への食料支援活動「ひとり一品運動」への取り組みにも参画したことが、他の模範となる福祉活動として認められたことによります。

松江地区労福協は引き続き、地域に貢献できる活動を展開していきます。



ろうきんマスコットキャラクター「ロッキー」

はたらくあなたの、  
いちばんそばに。



## “ろうきん運動”と“SDGs”

組合員のためのろうきん運動推進が  
“実は”SDGsの達成につながっています！

ろうきんは「ろうきんSDGs行動指針」を策定し、協同組織金融機関としての役割発揮とSDGsの達成に取り組んでいます。

ろうきんの取り組み（ろうきん運動の推進）

組合員（勤労者）の生活向上   金融アクセスの改善   社会的課題の解決

SDGsの達成！

詳しく知りたい方はこちらから  
<https://all.rokin.or.jp/about/sdgs.html>

ろうきん SDGs   検索



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

さらに

ろうきんは世界から  
注目されています！

国際労働機関（ILO）は、世界でもユニークな日本の労働金庫モデルについての分析・評価と教訓からなるILOレポート2019を作成し2019年3月に公表しました。

詳しく知りたい方は  
こちらから





**島根県労働者共済生活協同組合 第66回通常総代会  
こくみん共済 coop〈全労済〉島根推進本部第5回組合員代表者会議 を開催**



7月28日(木)13時より労働会館にて「島根県労働者共済生活協同組合第66回通常総代会」ならびに「こくみん共済 coop〈全労済〉島根推進本部第5回組合員代表者会議」を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出席総代を最小限に留め開催しました。

当日は、島根県労福協より成相理事長を来賓に迎え、挨拶を頂戴し議案審議に入りました。第66回通常総代会に提起しました2022年度における組合員の利用拡大・経営基盤強化計画等を含む全議案が承認されました。

また、こくみん共済 coopにおいては、2022年度から2025年度の4年間を「中期経営政策2022-25～変革と創造～」と位置づけ活動を展開します。第5回代表者会議において中期経営政策の初年度としての各種取り組みを含む2022年度活動計画を提起し、全議案承認されました。

今回の通常総代会において、役員の一部変更がありました。2022年度新役員は右記のとおりです。



成相理事長によるご挨拶



**2022年度 新役員名簿 (敬称略)**

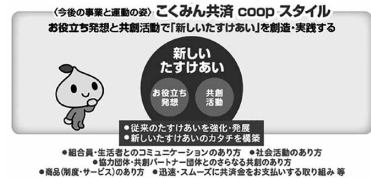
役職名	氏名	出身
理事長	原田 圭介	員外
専務理事	本内 隆彦	員外
理事	佐々木康雄	PIDUキャパシタ松江支部
〃	門脇 伸介	松江市職員ユニオン
〃	松岡 隆介	隠岐の島町職員組合
〃	杉谷 健治	安来製作所労働組合
〃	西尾 和孝	パナソニック・ラーシステム製造労働組合
〃	高田 信一	ダイハツメタル労働組合
〃	山下 友一	出雲市職員連合労働組合
〃	大谷 哲平	大田市職員連合労働組合
〃	焼杉 尚生	江津市職員労働組合
〃	金高 賢至	私鉄中国地方労組石見交通支部浜田分会
〃	三浦 克行	益田市職員労働組合
〃	須田 晋次	自治労島根県本部
〃	丸山 武	一畑電鉄労働組合
〃	前田 陽生	JAM山陰
〃	島田 一英	UAゼンセン島根県支部
〃	山根 浩一	中電工労組島根県支部
〃	小松原直樹	日立金属労働組合安来支部
〃	加田 章	全日通労働組合島根県支部
〃	岸本 武士	JP労組島根連絡協議会
〃	森本 明樹	島根県職員連合労働組合
〃	安井 光夫	生活協同組合しまね
監事	清重 勝也	日本製紙労働組合江津支部
〃	佐伯 正憲	安来市職員労働組合
〃	荒鷹 弘昭	ダイワボウ労働組合出雲支部

**「こくみん共済 coop 中期経営政策 2022-25 ～変革と創造～」**

**《今後の活動の基調》**

「中期経営政策2025 変革と創造」(略称)の取り組みを通じて、めざす姿(理念の実現)への変革に挑戦し、環境が変化する中において、「お役立ち発想」と「共創活動」にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造・実践していく。

この「新しいたすけあい」を創造・実践する姿(スタイル)を「こくみん共済 coop スタイル」と呼び、今後の事業と運動の姿とする。



**《「新しいたすけあい」を創造・実践する「3つの姿(10の行動)」》**

1. 組合員・生活者との姿
  - ① 多様なコミュニケーション手段を確立
  - ② 幅広く安心をサポート
  - ③ 事業・運動への参加、共感を拡大
2. 協力団体・共創パートナー団体との姿
  - ① スムーズで迅速な共済活動
  - ② 組合員にむけた組織間の共創
  - ③ 地域課題解決にむけた共創
3. 業務・経営の姿
  - ① 体制・役割を最適化
  - ② 事務・お支払い等を高度化・効率化
  - ③ お役立ちを進める推進体制
  - ④ さらなる健全性・安定性確保

**第38回全山陰少年サッカー選手権大会を開催**

主催 (一社)島根県サッカー協会 (一財)鳥取県サッカー協会  
 後援 島根県教育委員会 出雲市教育委員会 日本海テレビ  
 特別協賛 こくみん共済 coop 島根推進本部 こくみん共済 coop 鳥取推進本部



7月2日(土)～3日(日)の2日間、出雲市の浜山総合運動公園：陸上競技場にて「第38回全山陰少年サッカー選手権大会」を開催しました。



こくみん共済 coop は、サッカーを通じ山陰両県の子どもの健全育成貢献目的に特別協賛として大会を盛り上げました。新型コロナウイルス感染拡大の状況も心配しながらの大会となりましたが、今年もコロナウイルス感染対策を徹底し無事に開催することができました。決勝が行われた2日目は、時折雷雨等もありましたが、島根代表2チームにより決勝戦が行われ、PFC 益田(島根)と湘北 FC(島根)の対戦となり、PFC 益田が湘北 FCに勝利し、念願の初優勝となり大会は無事終了しました。

決勝戦の様子は、7月29日(金)15時50分より日本海テレビにて放映されました。